# 松江市ふるさと奨学金

# 平成３０年度奨学生募集

募集要項

平成３０年４月募集開始

松江市教育委員会では、将来松江市への居住を希望している方を対象に、優れた素質と向学心をもちながら、経済的な理由により就学が困難な学生生徒を支援するため、無利子による奨学金貸付事業を行っています。

この奨学金は、学校卒業後に松江市に居住していただければ、申請に基づいて返還を半額免除することができます。

奨学金の対象となる学校区分は、別紙「ふるさと奨学金の概要」受給資格を確認ください。

## 募集概要

採用人数：予算の範囲内で決定します　　貸与月額：23,000円～47,000円

## 出願方法

受付期間　　平成30年4月2日（月）～平成30年5月31日（木）

提出書類　　次の書類を１部提出【郵送可、当日消印有効】

| | | |
|---|---|---|
| 1. 奨学生願書 | 添付様式第１号を使用 | |
| 2. 家計調書 | 添付様式第２号を使用 | |
| 3. 奨学生推薦調書 | ≪高校・高専・専修学校≫　添付様式第３号を使用<br>第１学年は出身学校で作成。他の学年は在学校で作成<br>≪大学・短大≫　添付様式第４号を使用<br>学年に関わらず出身学校（高校・高専）で作成 | |
| 4. 在学証明書 | 在学する学校が発行する証明書 | |
| 5. 住民票 | 本人及び本人と生計を同じくする親族 | |
| 6. 平成29年中の収入を証明する書類 | 【父母等が松江市内に居住】<br>（平成30年１月１日時点）<br>添付様式第５号の提出のみ | 【父母等が松江市外に居住】<br>※同居別居を問わず、生計を同一にする方全員分が対象。<br>下記のア～ウのいずれかを提出<br>ア　平成29年分所得税の確定申告書第一表・第二表（控）のコピー<br>イ　平成29年分の源泉徴収票の原本<br>ウ　平成30年度市民税・県民税申告書及び申告受付書のコピー |

※出願に際し連帯保証人が２名必要です。１名は保護者、１名は別生計の方としてください。
また、どちらか１名は松江市内に住所を有する方としてください。

## 結果通知

奨学生選考委員会を開き、７月中旬頃に出願者全員に採否結果を郵送でお知らせします。

## お問い合わせ／お申し込み

〒690-8540　松江市末次町86　松江市教育委員会教育総務課　☎0852-55-5414
松江市ホームページ http://www.city.matsue.shimane.jp/でもご案内しています。

# 松江市ふるさと奨学金の概要

| | | |
|---|---|---|
| **受給資格** | 次の1～5をすべて満たし、かつ、6又は7に該当すること<br>1. 高等学校、高等専門学校、大学（短大）、専修学校（高等課程・専門課程）に新入学又は既に在学する人<br>2. 学校卒業後松江市内に居住する意思を持つ人<br>3. 市外の学校の場合、父母又はこれに代わる人が松江市に居住していること<br>市内の学校の場合、本人が松江市内に居住していること<br>4. 経済的な理由により学費の支払いが困難な人<br>5. 出身学校長又は在学校長が推薦する人<br>6. 高等学校、高等専門学校、専修学校にあっては、人物が良好で、勉学意欲を有する人<br>7. 大学にあっては、人物及び学業成績が良好な人 | |
| **貸与額** | 高等学校 | 月額23,000円 |
| | 高等専門学校 | 月額24,000円 |
| | 大学（自宅通学） | 月額43,000円 |
| | 大学（自宅外通学） | 月額47,000円 |
| | 専修学校 | 月額47,000円 |
| **利　子** | 無利子 | |
| **貸与期間** | 平成30年4月から在学する学校を卒業するまでの最短修業年限の最終月まで | |
| **貸与方法** | 年2回に分けて貸与 | |
| **返還期間** | 貸与が終了した月の翌月から数えて13ヶ月を経過した月から、次に定める期間 | |
| | 高等学校・高等専門学校 | 貸与期間の2倍の期間 |
| | 大学・専修学校 | 貸与期間の3倍の期間 |
| **返還方法** | 年賦・半年賦・月賦均等から選択（本人の都合により繰上返還できます。） | |
| **返還免除** | 奨学金を返還すべき年度の前年度（4月1日～3月31日の期間）に、松江市に居住し続けていた場合、その返還すべき年度の返還金を半額免除します。<br>ただし、以下の1、2のいずれかを満たす人は返還免除の対象になりません。<br>1. 奨学生として決定を受けた学校に進学する前に、<br>①5年以上学校に通っておらず、かつ②5年以上継続して松江市内に居住していた人<br>2. 繰上返還を行った人 | |
| **併願併給** | 「松江市ふるさと奨学金」は、「他の奨学金」と重複して奨学金を受けることができます。<br>ただし、他の奨学金の中には、重複受給を認めない場合もありますので、ご注意ください。 | |
| **休止廃止** | 奨学生が休学したときは、その期間中奨学金の貸与を休止します。<br>また、奨学生が次のいずれかに該当するときは、奨学金の貸与を廃止します。<br>1. 退学したとき<br>2. 操行不良等奨学生としてふさわしくないと認められるとき<br>3. 市外の学校の場合、父母又はこれに代わる人が松江市に居住しなくなったとき<br>市内の学校の場合、本人が松江市内に居住しなくなったとき<br>4. 奨学金の貸付を辞退したとき<br>5. 奨学金を必要としないと認められるとき | |

様式第１号（第２条関係）

# 奨　学　生　願　書

学校卒業後松江市に居住したいと考えていますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として採用されるよう、関係書類を添え申請します。

平成　　年　　月　　日

松江市長　松 浦 正 敬　　様

本　　人　住　所
氏　名　　㊞
電　話
連帯保証人　住　所
勤務先
氏　名　　㊞
電　話
連帯保証人　住　所
勤務先
氏　名　　㊞
電　話

奨学金を必要とする理由をお書きください

松江市への定住に向けた思いをお書きください

【関係書類】

1　家計調書
2　奨学生推薦調書
3　在学証明書
4　本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票
5　所得状況等の調査に関する同意書

# 記入例

様式第１号（第２条関係）

## 奨　学　生　願　書

学校卒業後松江市に居住したいと考えていますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として採用されるよう、関係書類を添え申請します。

提出年月日を記入する。

平成　　年　　月　　日

松江市長　松 浦 正 敬　　様

※　必ず全ての項目を記入すること。
・住所は住民票と関係なく現在住んでいる場所の住所を記入する。
・連帯保証人のうち１名は保護者、１名は別生計の方とする。
・連帯保証人２名のうち１名は市内に住所を有すること。

本　　人　住　所
氏　名　　㊞
電　話
連帯保証人　住　所
勤務先
氏　名　　㊞
電　話
連帯保証人　住　所
勤務先
氏　名　　㊞
電　話

奨学金を必要とする理由をお書きください

奨学金を必要とする理由を具体的に記入してください。

松江市への定住に向けた思いをお書きください

あなたの思いを自由にお書きください。

【関係書類】
1　家計調書
2　奨学生推薦調書
3　在学証明書
4　本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票
5　所得状況等の調査に関する同意書

様式第2号（第2条関係）

# 家　計　調　書

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | | 申請者の在学状況 | 国公立<br>学校名　私　立 |
| 申請者氏名 | | | 学部・学科名　（　年制） |
| 生年月日 | 昭和<br>平成　年　月　日 | 男・女 | □＿年に在学中（通学方法　□自宅・□自宅外）<br>□＿年＿月卒業後、□無職・□就職・□予備校生 |

| | |
|---|---|
| 申請者住所<br>（住民票上の住所） | ①（〒　－　）　電話番号　自宅（　）　－<br>【　】の携帯（　）　－<br>※現住所が住民票上の住所と異なる場合、その住所を記入してください<br>②（〒　－　） |
| 連絡先住所<br>（書類等送付先） | □　上記①の住所と同じ　□　上記②の住所と同じ<br>（〒　－　）　日中連絡の取れる電話番号　自宅（　）　－<br>【　】の携帯（　）　－ |

| 世帯の状況 | 続柄 | フリガナ<br>氏　名 | 生年月日 | 所得金額 | 在学状況（学生の場合） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |
| | | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私　立 | 小・中・高・高専・大・専修<br>【校　名】 | 年 | 自　宅<br>自宅外 |

| 特別事情 | 母子・父子世帯または養育者世帯 | 障がいのある人のいる世帯 | 長期療養者（6か月以上）のいる世帯 | 単身赴任世帯 | 災害を受けた世帯 |
|---|---|---|---|---|---|
| | □ | □（　人） | □ | □ | □ |

| | |
|---|---|
| 奨学金貸付を希望する学校 | □現在在学の学校（入学年月＿＿＿年＿月）<br>□次の学校に進学予定<br>国公立<br>学校名　私　立<br>学部・学科名　（　年制） |

上記の家計状況に相違ありません。

平成　年　月　日　　本　人　㊞

連帯保証人　㊞

連帯保証人　㊞

# 記入例

様式第2号（第2条関係）

## 家　計　調　書

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | マツエ　タロウ | 申請者の在学状況 | 国公立 学校名 私立 松江大学 |
| 申請者氏名 | 松江　太郎 | | 学部・学科名　文学部日本文学科（1年制） |
| 生年月日 | 昭和 平成 11年12月12日 男・女 | | ☑ 1年に在学中（通学方法 ☑自宅・□自宅外） |
| | | | □＿年＿月卒業後、□無職・□就職・□予備校生 |
| 申請者住所（住民票上の住所） | ①（〒 690 － 8540 ）<br>松江市末次町86番地 | | 電話番号　自宅（ 0852 ） 55 － 5555<br>【 本人 】の携帯（ 090 ） 1234 － 5678 |
| | ※現住所が住民票上の住所と異なる場合、その住所を記入してください<br>②（〒　－　） | | |
| 連絡先住所（書類等送付先） | ☑ 上記①の住所と同じ　□ 上記②の住所と同じ<br>（〒　－　）　日中連絡の取れる電話番号　自宅（　）　－<br>【母】の携帯（ 080 ） 1234 － 5678 | | |

生計同一者全員の所得金額（平成29年中）を記入する。
（源泉徴収票などから所得金額を転記）

世帯の状況

| | | | | 在学状況（学生の場合） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 父 | マツエ　キョウタ<br>松江　教太 | 明・大・昭・平<br>42年 3月 3日 | 3,456,789 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】 | 年 | 自宅<br>自宅外 |
| 母 | マツエ　イクミ<br>松江　育美 | 明・大・昭・平<br>44年 5月 5日 | 1,234,567 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】 | 年 | 自宅<br>自宅外 |
| 姉 | マツエ　ショウコ<br>松江　奨子 | 明・大・昭・平<br>8年 7月 7日 | 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】<br>松江大学 | 4年 | 自宅<br>自宅外 |
| 弟 | マツエ　マナブ<br>松江　学 | 明・大・昭・平<br>15年 9月 9日 | 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】<br>松江中学校 | 3年 | 自宅<br>自宅外 |
| | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】 | 年 | 自宅<br>自宅外 |
| | | 明・大・昭・平<br>年　月　日 | 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】 | 年 | 自宅<br>自宅外 |
| | | | 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】 | 年 | 自宅<br>自宅外 |
| | | | 円 | 国公立<br>私立 | 小・中・高・高専・大・専修【校名】 | 年 | 自宅<br>自宅外 |

世帯員に学生がいる場合は在学状況を記入する。

該当があれば□に✔を入れる。
※別途提出書類が必要になります。
詳細は別紙を参照してください。

| 特別事情 | 父子世帯または養育者世帯 | 障がいのある人のいる世帯 | 長期療養者（6か月以上）のいる世帯 | 単身赴任世帯 | 災害を受けた世帯 |
|---|---|---|---|---|---|
| | □ | □（　人） | □ | ☑ | □ |

| | |
|---|---|
| 奨学金貸付を希望する学校 | □現在在学の学校（入学年月＿＿＿年＿月）<br>☑次の学校に進学予定<br>国公立 学校名 私立 松江大学<br>学部・学科名　法学部法学科（4年制） |

上記の家計状況に相違ありません。

平成 30 年 5 月 31 日

本　人　松江　太郎　㊞

連帯保証人　松江　教太　㊞

連帯保証人　松江　金次　㊞

○特別事情に係る提出書類について

(1) 平成30年1月1日現在の状況で、特別事情のある世帯に該当する場合は、該当世帯の□に✔をつけてください。

(2) ✔をつけた場合は、必ず証明書類を添付してください。

※ただし、母子・父子世帯又は養育者世帯の場合は、住民票で確認できますので別の証明書類は不要です。

(3) 障がいのある人のいる世帯は人数も記入してください。

| 項　　目 | 提出する証明書類 |
|---|---|
| 「障がいのある人のいる世帯」 | ①身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の写し（人数分） |
| 「長期療養者（6か月以上）のいる世帯」<br>※申請時に6か月以上継続して療養中の人又は療養を必要とする人がいる世帯 | ①平成29年1月から平成29年12月までの治療若しくは療養にかかった経常的費用の領収書の写し又はその費用の証明書（医療給付を受ける金額を除く。） |
| 「単身赴任世帯」<br>※主たる家計支持者が、現在単身赴任している世帯 | ①単身赴任していることが確認できる書類（健康保険証の写し、家賃の証明書の写し、光熱水費の領収書の写し等） |
| 「災害を受けた世帯」<br>※平成29年中に受けた火災・風水害などの被害が対象 | ①罹（り）災証明書の写し<br>②それまでの家屋に居住できない場合の賃貸費等の領収書の写しや、災害により被害のあった家財で、新たに購入を行った場合の領収書の写し（ただし、生活に必要な限度を超えるものは含まない。）<br>※保険、損害賠償等によって補てんされた場合は除きます。 |

様式第3号(第2条関係)

(高等学校・高等専門学校・専修学校用)

# 奨 学 生 推 薦 調 書

奨学生氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　出欠状況

| 学年＼日数 | 授業日数 | 出席日数 | 欠席日数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 第1学年 | | | | |
| 第2学年 | | | | |
| 第3学年 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

2　所見

| | |
|---|---|
| 人物評価 | |
| 勉学意欲 | |
| その他参考事項 | |

人物が良好であって、勉学意欲があり、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

平成　　年　　月　　日

松江市長　松 浦 正 敬　　様

学校長(氏名)　　印

1　新入学生にあっては出身学校長が、在校生にあっては在学校長が記入する。
2　人物評価及び勉学意欲については、なるべく詳細に記入する。
3　その他参考事項は、在学中に取得した資格等について記入する。

# 記入例

第1学年は、出身学校で作成する。
その他の学年は、在学校で作成する。

様式第3号（第2条関係）

（高等学校・高等専門学校・専修学校用）

## 奨学生推薦調書

奨学生氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

1　出欠状況

| 学年＼日数 | 授業日数 | 出席日数 | 欠席日数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 第1学年 | | | | |
| 第2学年 | | | | |
| 第3学年 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

授業日数＝出席日数＋欠席日数となるように記入する。
授業日数のほか、授業時数での記入も可とする。

欠席日数（時数）のうち、流行性感冒など特に配慮すべきものは、その理由と日数（時数）を記入する。

2　所見

| | |
|---|---|
| 人物評価 | |
| 勉学意欲 | |
| その他参考事項 | |

人物が良好であって、勉学意欲があり、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

平成　　年　　月　　日

松江市長　松浦正敬　様

学校長（氏名）　　印

1　新入学生にあっては出身学校長が、在校生にあっては在学校長が記入する。
2　人物評価及び勉学意欲については、なるべく詳細に記入する。
3　その他参考事項は、在学中に取得した資格等について記入する。

様式第4号（第2条関係）

（大学用）

# 奨学生推薦調書

調書作成者印 ㊞

（　　）高等学校成績（　　年　　月卒業・卒業見込み）

| 教科＼学年 | 第1学年 | | | | | 第2学年 | | | | | 第3学年 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 評定 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 国語 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地理歴史 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公民 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数学 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保健体育 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 芸術 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国語 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家庭 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評定別科目数 | | | | | | | | | | | | | | | |

高等学校評定平均値

| 評定 | 科目数 | 評定値 |
|---|---|---|
| 5 | ×（　） | ＝（　） |
| 4 | ×（　） | ＝（　） |
| 3 | ×（　） | ＝（　） |
| 2 | ×（　） | ＝（　） |
| 1 | ×（　） | ＝（　） |
| 合計 | A（　） | B（　） |

$\frac{B}{A}$ ＝

評定平均値

| 推薦する者の氏名 | 成績関係記入者 |
|---|---|
| ※男・女 | 印 |

（注意）

1　高等学校成績は各教科とも評定別に履修科目数を記入する。

2　卒業見込みの者の評定は記入日時点までのものとする。

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|---|---|---|---|
| 特別活動の記録 | ホームルーム・生徒会活動 | ホームルーム・生徒会活動 | ホームルーム・生徒会活動 |
| | (所見) | (所見) | (所見) |
| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
| 指導上参考となる諸事項 | (学習所見) | (学習所見) | (学習所見) |
| | (行動の記録) | (行動の記録) | (行動の記録) |
| | (趣味・特技・取得資格等) | (趣味・特技・取得資格等) | (趣味・特技・取得資格等) |
| | (部活動ボランティア活動等) | (部活動ボランティア活動等) | (部活動ボランティア活動等) |
| | (進路等) | (進路等) | (進路等) |

上記の者は、人物、学業ともに優良であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

平成　　年　　月　　日

松江市長　松 浦 正 敬　　様

高等学校長(氏名)　　職　印

# 記入例

様式第4号（第2条関係）

卒業・卒業見込みのいずれかに○囲み。

## 奨学生推薦調書

作成者印 ㊞

（　　）高等学校成績（　　年　　月卒業・卒業見込み）

| 教科＼学年 | 第1学年 | | | | | 第2学年 | | | | | 第3学年 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 評定 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 国語 | | 2 | | | | | 2 | | | | 1 | 1 | | | |
| 地理歴史 | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | | |
| 公民 | | 1 | | | | | 1 | | | | | 1 | | | |
| 数学 | 1 | 1 | | | | | 2 | | | | | 2 | | | |
| 理科 | | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | |
| 保健体育 | | | 1 | | | | 1 | | | | 1 | | | | |
| 芸術 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 外国語 | 1 | 1 | | | | | 2 | | | | | 2 | | | |
| 家庭 | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 情報 | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 専門学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評定別科目数 | 2 | 9 | 1 | | | 1 | 10 | 1 | | | 2 | 8 | | | |

各教科の成績を5段階で評価し、評定欄に該当の教科数を記入する。卒業見込みの者については、第3学年2学期終了時点までの評定を記入する。

高等学校評定平均値

| 評定 | 科目数 | 評定値 |
|---|---|---|
| 5 | (5) | (25) |
| 4 | (27) | (108) |
| 3 | (2) | (6) |
| 2 | (　) | (　) |
| 1 | (　) | (　) |
| 合計 | A(34) | B(139) |

$\frac{B}{A}$ ＝ 評定平均値 **4.1**

小数点第1位未満四捨五入。

| 推薦する者の氏名 | 成績関係記入者 |
|---|---|
| ※男・女 | 印 |

推薦する者（出願者）の氏名を記入する。

記入者の氏名を記入する。

（注意）

1　高等学校成績は各教科とも評定別に履修科目数を記入する。

2　卒業見込みの者の評定は記入日時点までのものとする。

# 記入例

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|---|---|---|---|
| 特別活動の記録 | ホームルーム・生徒会活動 | ホームルーム・生徒会活動 | ホームルーム・生徒会活動 |
| | (所見) | (所見) | (所見) |
| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
| 指導上参考となる諸事項 | (学習所見) | (学習所見) | (学習所見) |
| | (行動の記録) | (行動の記録) | (行動の記録) |
| | (趣味・特技・取得資格等) | (趣味・特技・取得資格等) | (趣味・特技・取得資格等) |
| | (部活動ボランティア活動等) | (部活動ボランティア活動等) | (部活動ボランティア活動等) |
| | (進路等) | (進路等) | (進路等) |

上記の者は、人物、学業ともに優良であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

平成　　年　　月　　日

松江市長　松 浦 正 敬　　様

高等学校長(氏名)　　職　印

様式第5号（第2条関係）

# 所得状況等の調査に関する同意書

平成　　年　　月　　日

松江市長　松　浦　正　敬　　様

本人住所

本人氏名　　㊞

電話番号

保護者住所

保護者氏名　　㊞

電話番号

私は、松江市ふるさと奨学金の申請を行うにあたり、松江市で私及び同一世帯の者の所得状況、その他申請内容の確認を行うために必要な調査を行うことに同意します。